

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年2月13日(木)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭の自然物を使って③ ～色・枝アート～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・公園や園庭で枝を拾い集めている姿があり、何に使うか問いかけてみたところ、子ども達から絵の具を使ってみたいという声上がり、実際に枝アートをやってみることにした。

2. 活動スケジュール

- ・園庭に枝を拾いに行く。
- ・拾ってきた枝に絵の具を付けて思い思い模造紙に絵を描いていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

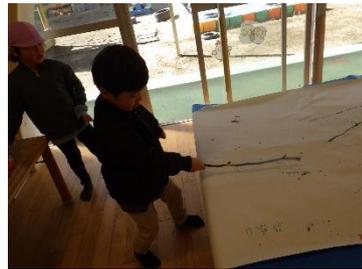
- ・枝
- ・模造紙
- ・絵の具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭に枝を拾いに行く。
- ・拾ってきた枝に絵の具を付けて模造紙に絵を描いていく。
- ・描きづらい枝や描きやすい枝があることに気づき、園庭に探しに行く。
- ・描きやすい枝を見つけてダイナミックに模造紙に描いていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 園庭に枝を拾いに行き、 「この枝はどうか？」と初めは鉛筆ぐらいの細くて短い枝を沢山集めてきていたが、やってみると「なんかうまくかけないよ」と短いと上手く描けないことに気が付き違うものを探しに行っていた。 • 次に持ってきたのは前の枝よりも長くて少し太めの枝だった。絵具を付けて叩いてみると跡が上手くつき「長い方がいいよ」と自分の気づきを友達にも共有している姿が見られた。 • 色々試していると“真ん中を持ったら両方使える”という発見や、枝に一色ずつ付けて叩くことで“にじみたいになる”と気づきが生まれていた。 • 『どんな枝が良かった？』という質問に「やっぱり長くて細いのが一番よかったかな」と口を揃えて言っていた。 	   

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

『どんな枝だと上手く絵の具が付くかな。』という問いかけを頭に入れながら、これだと「描きやすいかな?」「こっちの方が鉛筆みたいに持てそうだよ」と相談しながら探している姿が見られた。実際にやってみると思っていたようにはいかず、自分たちでどんな枝が描きやすいのか考え、枝の使い方を工夫し色々な描き方を発見し、子ども同士で共有していた。子ども達の中で「里山にあるもっと大きい枝でもやってみたいね」という話をしている姿も見られたので、里山に探しに行きまた挑戦できたらと思う。